

HIA ワークショップ（7月26日：第5会場 13:00～16:00）

すべての政策に健康の視点を
健康を意識したまちづくりへ—新たなツール・健康影響予測評価（HIA：Health Impact Assessment）
の活用—HIA スクリーニング・チェックリストを用いたワークショップ

1. はじめに

最近ではあらゆる格差の拡大が懸念されており、政策・施策・事業が、住民の幅広い意味での健康（健康、福祉、生活など）にどのような影響を与えるかを様々な角度から評価し、ポジティブな影響を増進し、ネガティブな影響を低減する情報を政策等の決定者に提供するためのツールである「健康影響予測評価（HIA: Health Impact Assessment）」が開発され、欧州諸国（EU）を中心に世界各国に徐々に広がりを見せ、日本でも少しずつ知られるようになってきました。また、人々の健康は、医療や保健政策のみならず、雇用、教育、住宅、食料、環境、経済などさまざまな分野の政策によって大きく影響を受けます。しかしながら、保健医療政策以外の政策分野において、健康に関する配慮を求める機会は限られています。そこで、特に保健医療政策以外の政策分野において、健康配慮を求める社会的なメカニズムとして HIA が発展してきました。

2. HIA ワークショップ

HIA の手順では、事業が健康に影響するかどうかを見極め、本格的な HIA を行うかどうかを選択する「スクリーニング」を行います。そのために必要となるのが HIA スクリーニング・チェックリスト（以下 HIACL）です。

HIA ワークショップでは、参加者のみなさまに 10 人程度のグループに分かれていただき、日常生活に関連する具体的な事例を用いながら、HIACL をつかって HIA に関するスクリーニングを体験していただくとともに、HIA や HIACL の活用方法などについて幅広くディスカッションしたいと考えています。

タイムスケジュールと内容

- 12:45～ 趣旨説明・全体スケジュール説明（昼食を摂りながら）
- 13:00～ HIA（健康影響予測評価）について
- 13:30～ HIA ワークショップ（グループワーク）
- 15:00～ 発表・質疑・ディスカッション

3. 参加希望の方へ

参加申込：別紙の「HIA 参加申込用紙」に必要事項を記入し、FAX あるいはメール（添付）にて学会事務局までお申し込みください。

- 定員約：50 名（申込順で定員に成り次第締め切ります）
- 参加費：700 円（お弁当と資料代）：学会場の HIA ワークショップ受付にて申し受けます。

HIAスクリーニング・チェックリストのサンプル

1. 本事業に関する目的、主な対象集団、期待される成果をお書き下さい。

1) 事業目的
活動の拠点となる常設施設の確保 → 校区活動拠点の新設

2) 主な対象集団
小学校区住民

3) 期待される成果
集う場所が確保される
高齢者の交流場所が確保され、(病院通いが減り) 医療費の抑制につながる
活動に関係する資料との保管場所が確保でき、資料の継続性が確保される
会議場所の調整が必要なくなる(日時の調整だけでも)
校区の様々な組織が交流し、新たなネットワークが構築される
専任スタッフの配置が可能となる
住所(連絡先)が固定されるので、郵便物や連絡が確実に届く
コミュニティビジネスが活性化される
従来は自宅が事務所となっているので、自宅での作業から開放される

2. 本事業の実施により以下の社会的弱者集団へ影響があるかどうかを☑して下さい。
今回は「子育て世代」と「転入者」を対象者とした(後半は全体的影響も考慮した)

社会的弱者集団	影響あり	影響なし	社会的弱者集団	影響あり	影響なし
女性 子育て世代	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	単身世帯	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通弱者(不便な住居)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乳幼児	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報弱者(TV・新聞なし)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学童 子ども SOS	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外国人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中高生子ども SOS	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低所得者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
妊産婦	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身体障害者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高齢者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホームレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要介護者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他 転入者 DV	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注: 社会的弱者集団に影響ありの☑がある場合は次のページへお進み下さい。

対象としている事業が実施段階・時間経過によって健康影響が異なると想定される場合には、健康影響を評価しようとしている段階・時期を記入して下さい(例: 事業開始前・移行期、事業開始～短期、事業開始長期)。また、予測された影響の推移について、増大(↑)、不変(→)、減少(↓)の3種の矢印で記載して下さい。影響を受ける当事者以外にも考えられる関係者への予測される影響も記載して下さい。

3. この事業は社会的弱者集団のライフスタイル(食事、運動、睡眠、学習、嗜好品、反社会的行動、薬物乱用)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

+ (好影響)
子育てに関する情報交換の場が確保できる(育児)
地域のお年寄りから、離乳食など子育てに関する伝統的な情報を得ることができる(育児)
市内に1箇所しかない子育て支援施設機能が、校区単位にできることで利便性が増す(育児)
育児ブルーから開放され、乳幼児の虐待が減少する(育児)
ゴミ出しルールなど地域のルールを知ることができる(転入)
地域の食や祭りなど、伝統文化に触れることができる(転入)

- (悪影響)
校区の集まりに出席しないといやみを言われる(転入)
プライベートに介入される(育児、転入)
個人情報で自分の知らないところで収集される(育児、転入)

4. この事業は社会的弱者集団の社会環境(雇用条件、収入、地域とのつながり、ストレスなど)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

+ (好影響)
ファミリーサポートが校区で実施されるようになり、子育て世代が仕事できるようになる(育児)
育児ストレスからの開放(育児)
いろんな人とのネットワークができる(育児、転入)

- (悪影響)
派閥ができる(全体、育児、転入)
プライベートに介入される(全体、育児、転入)

HIAスクリーニング・チェックリストの構成

HIAスクリーニングチェックリスト

1. 本事業に関する目的、主な対象集団、期待される成果をお書き下さい。
 - 1) 事業目的
 - 2) 主な対象集団
 - 3) 期待される成果
2. 本事業の実施により以下の社会的弱者集団へ影響があるかどうかを☑して下さい。

社会的弱者集団	影響あり	影響なし	社会的弱者集団	影響あり	影響なし
女性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	単身世帯	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通弱者(不便な住居)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乳幼児	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報弱者(TV・新聞なし)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学童	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	外国人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中高生	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低所得者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
妊産婦	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身体障害者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高齢者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホームレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要介護者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. この事業は社会的弱者集団のライフスタイル(食事、運動、睡眠、学習、嗜好品、反社会的行動、薬物乱用)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

4. この事業は社会的弱者集団の社会環境(雇用条件、収入、地域とのつながり、ストレスなど)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

5. この事業は社会的弱者集団の社会的平等さ(差別、公平性、機会均等、少数民族(外国人など))にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

6. この事業は社会的弱者集団の生活(居住環境、労働環境、汚染、気候変化、感染症の拡がりなど)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

7. この事業は社会的弱者集団の提供されるサービスの質とそのサービスへのアクセス(ヘルスケア、交通、行政、住居、教育レジャーなど)にどのような影響(好影響または悪影響)を及ぼすと考えられますか。

8. その他考えられる影響があれば記載して下さい。

+ (好影響) - (悪影響) をそれぞれ記入欄に記述

HIAスクリーニング・チェックリストの試行事例

<p style="text-align: center;">HIAチェックリスト適用事例(中学校給食導入)</p> <p>○ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> +調理の手間が軽減(男・女、妊娠婦、身体障害者) バランスの取れた食事が取れる。(中学生) 同じ釜の飯を食べるのでお弁当を隠さないでもよいかつあげされない。(中学生) -宗教上の理由で食べてはいけない食材が使われているかもしれない。(外国人) 嫌いなものを食べなければならなくなる。(中学生) 手作りの弁当で、愛情表現ができなくなる。(女性・男性) <p>○社会環境</p> <ul style="list-style-type: none"> +金銭的負担が軽減する。(低所得者)、雇用が拡大する。(その他) -嫌いなものがストレスとなる。(中学生) <p>○社会の平等さ</p> <ul style="list-style-type: none"> +同じものを食べるので平等である。(中学生) -盛り付け方で給食の配膳量に差が生じ、不平不満が出る。(中学生) 宗教上食べられないものがあると、差別されるかもしれない。(中学生) アレルギーで食べられないものがあると、差別されるかもしれない。(中学生) 	<p style="text-align: center;">HIAチェックリスト適用事例(中学校給食導入)</p> <p>○生活</p> <ul style="list-style-type: none"> +給食を作った時間から喫食までの時間が短いので、自宅弁当より食中毒リスクが低くなる。(自宅弁当の場合、食中毒リスクがその家庭の子どもだけに限定される。)(中学生) -大量調理施設の場合、災害時の食料調達が難しく、給食が出せなくなる。(中学生) 大量調理施設は食中毒が発生した場合、被害が甚大となる。(中学生) センター方式の場合、施設からの排気や騒音、車両の出入りによる騒音や交通事故などの問題が生じる(周辺住民) <p>○サービスの質とサービスへのアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> -給食を食べるまでの準備(配膳)は時間がかかる。(中学生) センターの場合、配達時の交通事故により給食が届けられないことがある。 配達時間によっては、給食の品質が悪化することがある。 <p>○その他の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> +屋食代が軽減する(教員) 地元業者へ食材の納入量が増える。(地元業者) 雇用が増える(市民) -給食指導など給食関連業務が増加する。(教員) 嫌いなものを食べなければならぬかもしれない。(教員) 給食を導入する以前に弁当や弁当を納入している業者の収入が減る。(業者) 給食の機械・設備等に経費がかかる。(教育委員会) 給食に関する発注業務が増える。(教育委員会) 給食費の徴収業務が増える。(学校)
<p style="text-align: center;">HIAチェックリスト適用事例(清掃福祉収集)</p> <p>○ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> +排出協力者への遠慮がなくなり、生ものなど腐敗しやすいものを食べることができるようになる。 ごみの排出量をあまり気にしなくてよくなり、食事の内容が充実する。 ヘルパーへの要望が増え、会話する機会が増える。 嗜好品(すし、焼酎、ビールなど)がまんじりなくてよくなる。 ごみ出しの不安がなくなり安眠できる。 ごみ出しのルールについて理解を深めるなど、環境問題について学習する機会となる。 指定排出場所までごみを持って行かなくてよくなり、転倒などの不安がなくなる。 -無理に身体を動かさなくてよくなる反面運動不足となる。 嗜好品や食事をとりすぎて健康障害を起す。 <p>○社会環境</p> <ul style="list-style-type: none"> +近所の人に遠慮をしなくてよくなる。ごみ排出の不安が解消する。 -ヘルパーにお願いする玄関先までの排出料金を請求されるかもしれない。 近所の協力がなくなると、交流もなくなるかもしれない。 <p>○社会の平等さ</p> <ul style="list-style-type: none"> +市民なのにごみを出せなかった人がごみを出せるようになる。(公平性・機会均等) -ごみを指定場所まで持って行かなくていいので近所の人からひがまれる。(差別) 	<p style="text-align: center;">HIAチェックリスト適用事例(清掃福祉収集)</p> <p>○生活</p> <ul style="list-style-type: none"> +ごみをとめることがなくなるので衛生的な生活水準が確保される。 <p>○サービスの質とサービスへのアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> +ごみを持ち帰っていたヘルパーの負担が減り、その分介護サービスが向上する。(外出など) -排出困難者でもごみを出しやすいインフラ整備が必要なのに、インフラ整備がされなくなる。 <p>○その他の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> +近所の協力者の負担がなくなる。 ヘルパーの負担が軽減される。(ごみ持ち帰りの解消) 対象者から見た市のイメージアップ -市内居住者数は、対象者のごみ処理をしなければならなくなるので負担が増える。 ヘルパーは仕事(玄関先までのごみ出し)が増えても賃金があがらない場合もある。 ケアプランを作りかえる必要が出てくるので、ケアマネの負担が増える。 収集に必要な人員や経費など自治体の負担が増える。

自治体職員を対象にワイワイガヤガヤと実施したまちづくりHIAワークショップ

